

生涯学習センターにおける町民ニーズ調査報告（抜粋）

1. 趣旨

本資料は、現在策定作業を進めています「次期生涯学習推進計画」（令和7年度末完成予定）の参考資料として令和6年9月に実施した町民アンケート調査の結果から、生涯学習センターの運営改善や事業実施に関わる部分を抜粋したものです。

町民のニーズに基づいた、より質の高い事業提案の参考としてください。

2. 町民ニーズの世代間比較

生涯学習に関する町民の活動やニーズには、世代によって明確な特徴が確認できます。特に、「健康・生きがいづくり」は高齢者層から強く求められている点であり、また、当町においても「防災」は幅広い世代からの関心が高い状況であります。

項目	若年層・働く世代（10代～50代）	高齢者層（60代以上）
主な活動	一人での学習（PC、書籍など） 職場や専門学校での学習	町主催の講座や教室 グループ・サークル活動
学習理由	職業スキルの向上 新しい趣味やスキルの習得	健康維持、生きがいづくり、仲間との交流
情報源	インターネット、SNS	広報すぎと、地域の掲示板・回覧板
町への期待	設備の充実 インターネット予約の改善	既存施設のバリアフリー化 地域活動への支援

3. 生涯学習における町の現状（SWOT分析）

当町の生涯学習には、高い学習意欲と関心という良い点がある一方で、働く世代の参加率の低さといった課題もあります。こうした状況を踏まえ、町民の「学びたい」という思いを活かし、社会全体の変化（多忙化）に対応するため、戦略的な各種講座、教室を企画し、実施していく必要があります。

強み (S)	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層・高齢者層の高い学習意欲 ・公共施設の高い認知度と期待 ・防災、健康などへの高い関心 	弱み (W)	<ul style="list-style-type: none"> ・働く世代の参加率の低さ（時間的制約） ・世代間の情報格差 ・学習成果の社会還元機会の不足 ・施設への具体的な改善要望 （設備、予約、バリアフリー）
機会 (O)	<ul style="list-style-type: none"> ・「人生を豊かにしたい」という強い内発的動機 ・多様な学習ニーズの存在 	脅威 (T)	<ul style="list-style-type: none"> ・無関心層の存在 ・社会全体の多忙化

4. 調査結果から見られる主な傾向と課題

アンケート調査結果から、町は生涯学習活動において、以下の3点を課題としています。

1. 町の特性(強み)

【アンケート調査報告書(抜粋)①をご参照ください】

- ・全世代的に高い学習意欲、特に「防災」や「健康」といったテーマへの関心度が高い。
- ・公共施設は高い認知度があり、利用機会への期待も高い。

2. ニーズの多様性

【アンケート調査報告書(抜粋)②をご参照ください】

- ・若年層及び働く世代は、「職業スキル向上」や「新たな趣味、スキル習得」への意欲が強い。
- ・高齢者層からは「生きがいづくり」や健康維持、仲間との交流を目的とした学習ニーズが高い。

3. 克服すべき課題(弱み・脅威)

【アンケート調査報告書(抜粋)③及び④をご参照ください】

- ・働く世代の「生涯学習活動への参加率の低さ」や、「世代間の情報格差」という課題がある。
- ・施設の設備や予約システム、バリアフリー化といった具体的な改善要望が町民から寄せられている。
- ・町民の学習成果を地域に還元する機会が不足している。



杉戸町生涯学習意識調査 調査へのご協力をお願い



日頃から、町政に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

杉戸町では、生涯学習（下記を参照）を総合的・計画的に推進するための計画である「（仮称）次期杉戸町生涯学習推進計画」を策定いたします。このたび、町民の皆様の生涯学習への関わり等の状況を把握し、策定予定の計画に反映させるため、アンケート調査を実施することといたしました。

本調査は、町内に在住の18歳以上、約2,000人の方を無作為に選ばせていただき、実施するものです。

調査は無記名で行い、結果は統計的に処理されますので、他の目的に使われることや個人情報外部に漏洩することは一切ございません。

ご多用のところとは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、杉戸町の次期生涯学習推進計画を策定するための貴重なご意見とさせていただきたく、期日までにご回答いただきますよう、お願い申し上げます。

令和6年9月 杉戸町長 窪田 裕之

<生涯学習活動って、どんなこと？>

「生涯学習」とは、人生のあらゆる段階において、自らの意思で学び、知識や技能を習得し、向上させていく学習活動です。具体的には「資格取得」「講座やセミナーへの参加」「読書」「スポーツ活動」「ボランティア活動」「趣味活動」などを指します。

生涯学習は、年齢や性別・学歴に関係なく、誰でも取り組むことが出来ることであり、社会の変化に対応し、より充実した人生を送るために必要となる「知識」や「技能」を身につけられる重要な活動です。

-講座や読書-	-スポーツや音楽など-	-ボランティア-

これらは、どれもが生涯学習です。
あなたは今、どんな活動をしていますか？これから、してみたいですか？

➡裏面の「ご回答に関する留意事項」をご確認いただき、ご回答ください。

●ご回答に関する留意事項●

- ・必ず、調査対象者（宛名の方）ご本人が記入してください。

※ご本人による記入が難しい場合、ご家族や周囲の方のご協力をお願いします。

- ・令和6年9月1日を基準日として、記入してください。

- ・ご回答は、この調査票に直接○印を記入、又は記載欄に記入してください。

※○印の数は、「○はいくつでも」「○は1つ」などの、設問中の指定に合わせてください。

- ・ご記入後は、調査票を同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに期限までにご投函ください。

インターネットからの回答も可能です

https://apply.e-tumo.jp/town-sugito-saitama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=78012

からご回答いただくか、下記二次元コードを読み取り、回答フォームへアクセスし
ご回答ください。

※通信サービスの接続料金は、回答者様のご負担となります。データ通信料の制限に
ご注意ください。

インターネットでご回答いただいた場合、調査票の投函は不要です。



回答締め切り：令和6年9月30日まで

●お問い合わせ先●

杉戸町教育委員会 社会教育課 社会教育担当

〒345-8502 杉戸町清地 2-9-29

電話：0480-33-6476 FAX：0480-33-7127

E-mail：syakaikyoiku@town.sugito.lg.jp

1. 生涯学習活動への関わりについてお聞きます。

問1. この1年間くらいの間に「生涯学習活動（※）」を行っていますか。（○は1つ）

※「生涯学習活動」とはどんな活動か？→p1 下段の説明をご覧ください。

- 1. している →問2. へお進みください。
- 2. していない →問5. へお進みください。
- 3. しているが、不満がある →問2. へお進みください。

●「1」又は「3」を選択した方へ、それはどんな活動ですか？

活動中の分野の□に✓をし、（ ）内には具体的な内容や種目をお書きください。

（✓及び記入は、いくつでも可）

- ☐ 文化的な活動 （ ）
- ☐ スポーツ活動 （ ）
- ☐ ボランティア活動 （ ）
- ☐ その他 （ ）

問2. それは、どの地域で、どのような形態で行っていますか。（○はいくつでも）

（地域）

- 1. 町内
- 2. 町外

（形態等）

- 1. 公民館、図書館、生涯学習センターなどの公共施設が行う講座・教室等への参加
- 2. 学校（小・中学校、高等学校、大学など）の公開講座へ教室等への参加
- 3. 大学、短期大学、専門学校その他の学校への入学又は再入学
- 4. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室等への参加
- 5. 同好者が自主的に行っているグループ・サークルへの参加
- 6. パソコン・インターネットを活用した個人学習
- 7. 書籍等を活用した個人学習
- 8. 職場内研修、会社が指定する外部研修等への参加
- 9. その他（自由記載）

[]

→問3. へお進みください。

問3. 生涯学習活動を行う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 趣味や興味を広げたいから
2. 職業スキルを向上させたいから
3. 社会参加や地域活動に役立てたいから
4. 健康や心身の調子を保つため
5. その他(自由記載)

()

→問4. へお進みください。

問4. 生涯学習活動を行うようになったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

1. 退職後の時間を有効活用したいから
2. 子どもの成長に合わせて学びなおしたいから
3. 新しい趣味やスキルを身につけたいから
4. 知識や情報の「アップデート」(時代に即した内容にすること)が必要だと感じたから
5. その他(自由記載)

()

→問6. へお進みください。

問5. 生涯学習活動を行っていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

※問1で「2」を選択した方のみ

1. 忙しくて時間がない
2. 興味がない
3. 学習機会がない
4. 生涯学習に関する情報を得る機会がない
5. その他(自由記載)

()

→問6. へお進みください。

問6. 生涯学習活動に関する情報をどのように得ていますか。(○はいくつでも)

1. 新聞、テレビ、雑誌、ラジオ
2. 広報すぎと、自治会掲示板、回覧板
3. 町役場や公民館等の公共施設（ポスター・チラシなど含む）
4. インターネット、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）
5. 駅や商業施設など（ポスター、チラシなど含む）
6. 友人や知人からの情報
7. 特に得ていない
8. その他（自由記載）

()

→問7. へお進みください。

問7. 生涯学習活動に関して、どのような情報を知りたいですか。(○はいくつでも)

※問1で「2」を選択した方は、今後取り組むと仮定した際のお考えをお聞かせください。

1. 公共施設で開催される講座や教室の情報
2. カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間施設の講座・教室の情報
3. 生涯学習施設の設備や空き状況などの情報
4. サークルや同好会の活動の情報
5. 地域活動やボランティア活動に関する情報
6. 指導者や講師に関する情報
7. 講座や教室等に参加するための費用に関する情報
8. 資格取得に関する情報
9. その他（自由記載）

()

→問8. へお進みください。

問8. これまでの生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能を、どのように活かしていますか、又は、今後活かせると思いますか。(○はいくつでも)

※問1で「1」又は「3」を選択した方のみ

1. 自分の人生がより豊かになっている
2. 自分の健康維持や健康増進に役立っている
3. 家庭や日常生活に活かしている
4. 仕事や就職に活かしている
5. ボランティアなど地域活動に活かしている
6. 活かす機会がない
7. 活かそうとは思わない
8. その他（自由記載）



→問9. へお進みください。

問9. 生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能を活かすため、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 休日や放課後に、子どもたちの学習やスポーツなどを支援する活動
2. 子育てや家庭教育を支援する活動
3. 青少年の健全育成を支援する活動
4. 住民向けの健康づくりや、文化的な講座を支援する活動
5. まちづくり、地域づくりを支援する活動
6. 社会問題（防災、環境、少子高齢化、人権、男女共同参画など）に関する活動
7. 参加したいが、時間的制約がある
8. 参加したくない
9. その他（自由記載）



→問10. へお進みください。

問10. 地域や社会の中で、あなたが関心のある学習テーマは何ですか。
(○はいくつでも)

1. 防災・防犯に関すること
2. 環境に関すること
3. 子育てや家庭教育に関すること
4. 青少年の健全育成に関すること
5. 健康（保健・医療・福祉）に関すること
6. 少子高齢化に関すること
7. 障がい者福祉に関すること
8. 地域の歴史・文化・自然に関すること
9. まちづくり、地域づくりに関すること
10. 人権に関すること
11. 男女共同参画に関すること
12. 国際交流に関すること
13. 特にない
14. その他（自由記載）

()

→問11. へお進みください。

問11. 今後、さらに生涯学習活動を盛んにしていくため、町はどのような点に力を入れていくべきだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 施設の数を増やす
2. 既存の施設をだれもが利用しやすいように改修する（バリアフリー化）
3. 設備を充実させる
4. 学校の教室等をさらに利用しやすくする（空き教室や廃校の活用を含む）
5. 職員の対応やサービスを向上する
6. インターネットで予約をしやすくする
7. 多様な学習に対応できる総合型の施設を作る
8. 特にない
9. その他（自由記載）

()

→問12. へお進みください。

2. あなた自身のことについてお聞きします。

※アンケート結果の分析に必要ですので、必ずお答えください（分析以外の目的には使用しません）。

問12. あなたの年齢（令和6年4月1日現在）について（○は1つ）

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80代以上

→問13. へお進みください。

問13. あなたの住所について（1～5に○をつけてください）

1. 西地区	大字下野、大字下高野、大字茨島、大字大島、高野台東1～2丁目、高野台南1～5丁目、高野台西1～6丁目
2. 中央地区	大字杉戸、杉戸1～7丁目、内田1～4丁目、大字清地、清地1～6丁目、大字倉松、倉松1～5丁目、大字本島
3. 南地区	大字堤根、大字本郷
4. 東地区	大字遠野、大字広戸沼、大字佐左工門、大字並塚、大字才羽、大字北蓮沼、大字大塚
5. 泉地区	大字屏風、大字深輪、大字椿、大字木津内、大字目沼、大字宮前、大字鷺巣、大字木野川

これでアンケートは
終わりです。



最後までご協力いただき、
ありがとうございました。

この調査票を返信用封筒に入れ、期限までにご投函ください。

回答期限：令和6年9月30日（当日消印有効）

1 1. 関心のある学習テーマ（問 1 0）

1. 設問内容 問 1 0. 地域や社会の中で、あなたが関心のある学習テーマは何ですか。（複数回答可） ※この設問の対象者は、アンケートに回答した全町民です。

2. 回答状況（年齢別・関心のある学習テーマ別選択率）（各年齢層の全回答者数を分母として、各テーマを選択した人の割合を示しています。テーマ名を簡略化しています。）

（注）・本設問は複数回答が可能です。

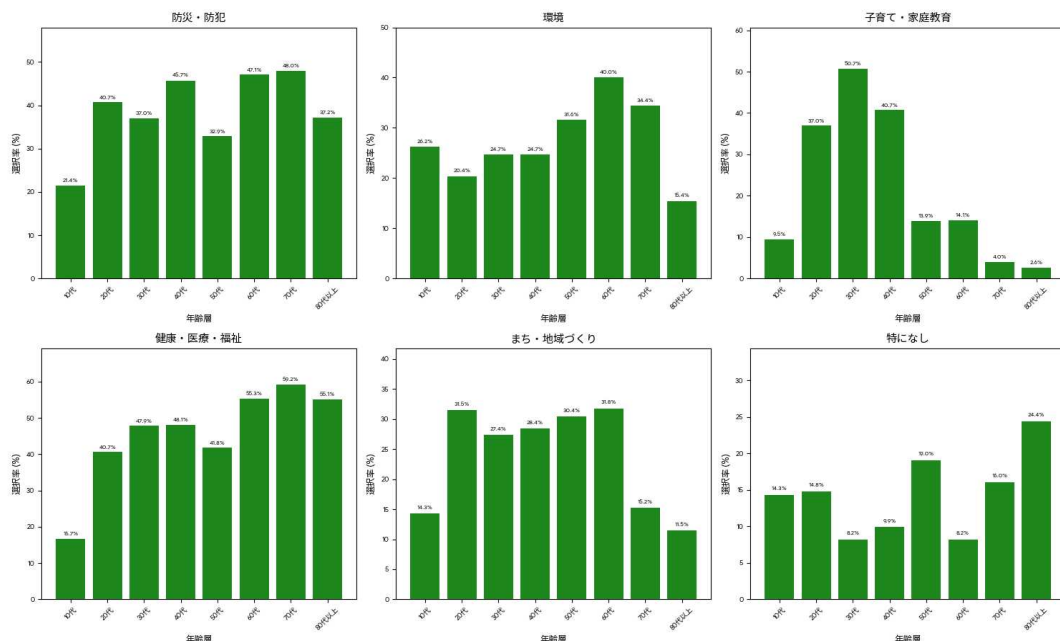
・各選択肢の選択率は、問 1 の各年齢層の全回答者を母数として算出しています。

関心のある学習テーマ	10代 (N=42)	20代 (N=54)	30代 (N=73)	40代 (N=81)	50代 (N=79)	60代 (N=85)	70代 (N=125)	80代以上 (N=78)
1. 防災・防犯	21.40%	40.70%	37.00%	45.70%	32.90%	47.10%	48.00%	37.20%
2. 環境	26.20%	20.40%	24.70%	24.70%	31.60%	40.00%	34.40%	15.40%
3. 子育て・家庭教育	9.50%	37.00%	50.70%	40.70%	13.90%	14.10%	4.00%	2.60%
4. 青少年育成	9.50%	7.40%	15.10%	11.10%	6.30%	8.20%	3.20%	1.30%
5. 健康・医療・福祉	16.70%	40.70%	47.90%	48.10%	41.80%	55.30%	59.20%	55.10%
6. 少子高齢化	16.70%	16.70%	16.40%	16.00%	8.90%	17.60%	14.40%	12.80%
7. 障がい者福祉	14.30%	20.40%	21.90%	13.60%	7.60%	21.20%	12.00%	15.40%
8. 地域の歴史文化	9.50%	24.10%	19.20%	21.00%	17.70%	17.60%	18.40%	5.10%
9. まち・地域づくり	14.30%	31.50%	27.40%	28.40%	30.40%	31.80%	15.20%	11.50%
1 0. 人権	11.90%	13.00%	11.00%	4.90%	3.80%	5.90%	5.60%	1.30%
1 1. 男女共同参画	9.50%	5.60%	4.10%	4.90%	6.30%	2.40%	0.80%	1.30%
1 2. 国際交流	26.20%	13.00%	17.80%	8.60%	10.10%	5.90%	3.20%	1.30%
1 3. 特になし	14.30%	14.80%	8.20%	9.90%	19.00%	8.20%	16.00%	24.40%

（注: 上記のNは各年齢層の全回答者数（問1の結果より算出）。太字は各年代で特に高い、あるいは特徴的な数値。）

3. 視覚的表現（グラフ）

問10. 主な関心のある学習テーマの年齢層別選択率（パネルグラフ）



4. 分析結果と考察（ポイント）：

- **全世代的に高い関心テーマ：**
「防災・防犯」と「健康・医療・福祉」は、世代を問わず関心が高いテーマです。「防災・防犯」は20代から70代で、「健康・医療・福祉」は30代以降で特に高いニーズがあり、高齢者層では半数を超えます。
- **子育て世代の強い関心：**
「子育て・家庭教育」は、20代から40代の子育て当事者世代から特に高い関心が示され、30代(50.7%)でピークに達します。
- **若年層に特徴的な関心：**
若年層では「環境」(10代 26.2%)や「国際交流」(10代 26.2%)への関心が比較的高く、特に「国際交流」は10代に特徴的な関心事です。
- **中高年層の地域への関心：**
「まち・地域づくり」は20代から60代にかけて安定した関心があり、特に50代・60代で地域への関与意欲として高く表れています。
- **学習テーマへの関心が薄い層：**
学習テーマについて「特になし」と回答した層も全世代で10～20%程度存在し、特に80代以上(24.4%)で高くなります。関心が薄い層へのアプローチも課題です。
- **自由記述より：**
「その他の関心のある学習テーマ」に関する自由記述（詳細は巻末資料p57参照）では、「特になし」や具体的な記述がない回答が多くを占めました。少数ながら「言語学習」や「科学」といった個別の学習テーマのほか、町のインフラや治安、医療体制に関する意見・要望も見受けられました。これは、生涯学習のテーマ設定において、より幅広い町民の関心や生活課題を視野に入れる必要性を示唆しているとも考えられます。

杉戸町の生涯学習推進への示唆：

- **現代的課題への対応：**～「防災・防犯」「健康」ニーズの高いテーマの講座充実～
町民の生命や安全、健康に直結するテーマは優先度を高く設定し、継続的な学習機会を提供します。
- **ライフステージ別テーマ設定：**～「子育て」など特定層のニーズを的確に捉える～
子育て世代、高齢者など、各ライフステージ特有の関心に応えるプログラムを企画・提供します。
- **地域課題への関心醸成：**～「まちづくり」「環境」などへの参加促進～
地域課題をテーマとした学習機会を通じて、町民の当事者意識を高め、地域活動への参加を促します。
- **多様な興味への対応と潜在的関心の喚起：**～「国際交流」「歴史文化」幅広い選択肢を～
幅広い分野の学習テーマを提供し、多様な興味に応えると共に、「特になし」と回答した層への働きかけも重要です。

4. 生涯学習活動を行う理由（問3）

1. 設問内容 問3. 生涯学習活動を行う理由は何ですか。（複数選択可）

※この設問は、問1で「生涯学習活動をしている」または「しているが、不満がある」と回答した方が対象です。

2. 回答状況（年齢別・理由別選択率）

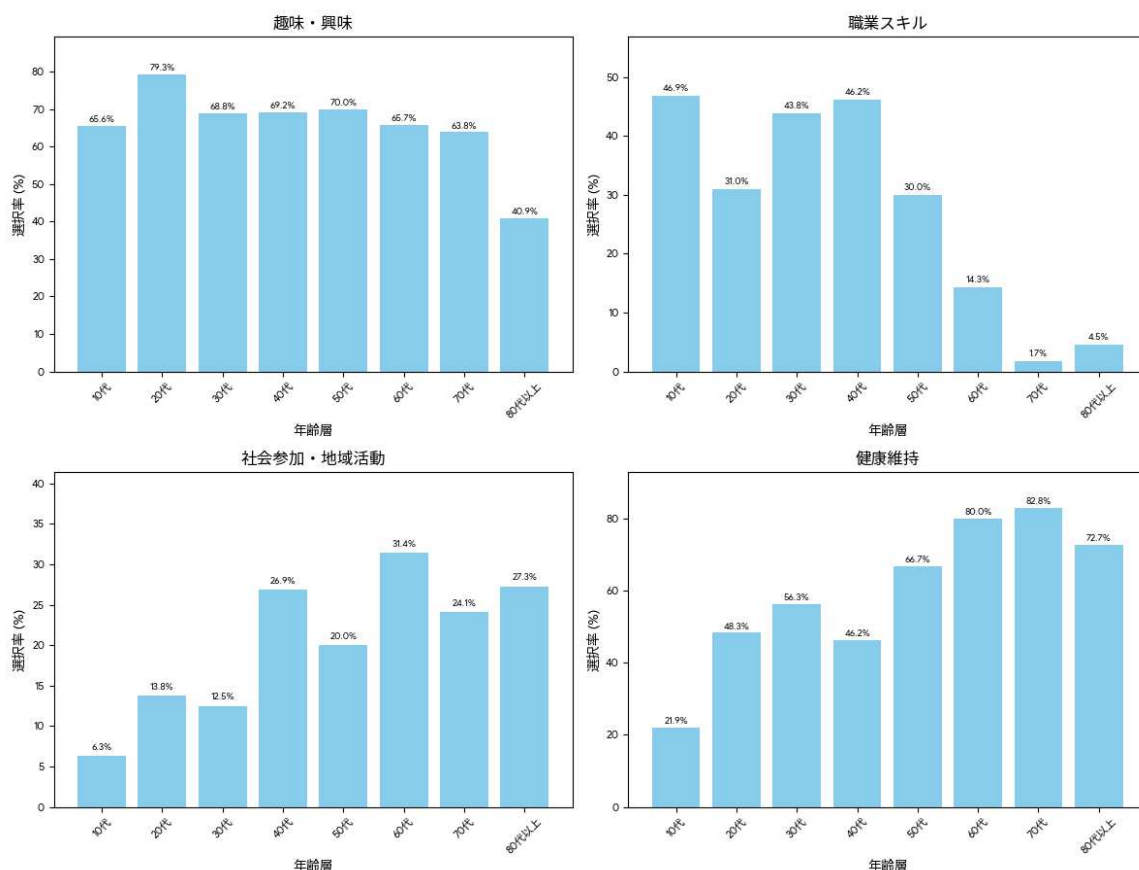
（各年齢層の活動者数を分母として、各理由を選択した人の割合を示しています）

活動理由	10代 (N=32)	20代 (N=29)	30代 (N=32)	40代 (N=26)	50代 (N=30)	60代 (N=35)	70代 (N=58)	80代以上 (N=22)
1. 趣味や興味を広げたい	65.60%	79.30%	68.80%	69.20%	70.00%	65.70%	63.80%	40.90%
2. 職業スキルを向上させたい	46.90%	31.00%	43.80%	46.20%	30.00%	14.30%	1.70%	4.50%
3. 社会参加や地域活動に役立てたい	6.30%	13.80%	12.50%	26.90%	20.00%	31.40%	24.10%	27.30%
4. 健康や心身の調子を保つ	21.90%	48.30%	56.30%	46.20%	66.70%	80.00%	82.80%	72.70%

（注: **太字**は各年代で特に高い、あるいは特徴的な数値。Nは各年齢層の活動者数（問1の結果より算出）。）

3. 視覚的表現（グラフ）

問3. 主な学習理由の年齢層別選択率（パネルグラフ）



4. 分析結果と考察（ポイント）：

- **全世代共通の主要動機:**

「趣味や興味の拡大」は全世代共通の主要動機であり、10代から70代まで60%以上が選択しています。これは生涯学習の根源的な動機と言え、80代以上でも高いニーズが見られます。

- **働く世代のスキルアップニーズ:**

「職業スキル向上」は、10代から50代までの若年・働く世代で高いニーズがあり、特に10代・30代・40代では4割を超えます。キャリア形成等の必要性がうかがえ、60代以降は急減します。

- **中高年層からの社会参加意識:**

「社会参加・地域活動」への関心は年代と共に上昇し、40代(26.9%)で2割を超え、60代(31.4%)でピークに達します。退職期前後からの地域貢献への意識の高まりが推察されます。

- **高齢者層における健康維持の重要性:**

「健康維持」は年代が上がるにつれて選択率が顕著に高まり、50代(66.7%)以降は最重要の理由となります。特に60代(80.0%)、70代(82.8%)では8割を超え、高齢期の学習と健康が強く結びついていることが示されています。

- **自由記述より:**

活動理由に関する自由記述（詳細は巻末資料p50参照）では、選択肢以外にも、「自己成長のため」「人との関わりを広げるため（家族以外も含む）」「将来への不安軽減」「ボケ防止」など、個人の内面的な充実や生活の質の向上、将来への備えに関連する多様な動機が示されました。「資格取得」を具体的な目標とする声も、ここでも確認されました。

杉戸町の生涯学習推進への示唆:

- ・ **普遍的ニーズへの対応:** ～「趣味・興味の追求」支援～

全ての世代に「趣味・興味」を広げる多様なプログラムを提供し続けることが基本です。

- ・ **キャリア形成とスキルアップ支援:** ～若年・働く世代向け～

若年・働く世代には、キャリアアップやスキル習得に繋がる講座や情報提供を強化し、リカレント教育の視点も取り入れます。

- ・ **社会参加と地域デビュー促進:** ～中高年・リタイア準備層向け～

40代以降、特にリタイア期を見据える世代には、スムーズな地域デビューや社会参加を促す学びの機会を提供します。

- ・ **健康寿命延伸と生きがいづくり支援:** ～高齢者向け～

高齢者には、健康増進プログラムや生きがいづくりに繋がる活動を最重点で提供し、介護予防の観点も重視します。

- ・ **動機軸のプログラム開発と戦略的広報:** ～全世代への効果的アプローチ～

各世代の主要な動機に応じた魅力的な講座設計と、ターゲットを明確にした広報戦略が求められます。

2. 生涯学習活動への参加状況（問1）

1. 設問内容

問1. この1年間くらいの間に「生涯学習活動」を行っていますか。（単数回答）

2. 回答状況（年齢別）

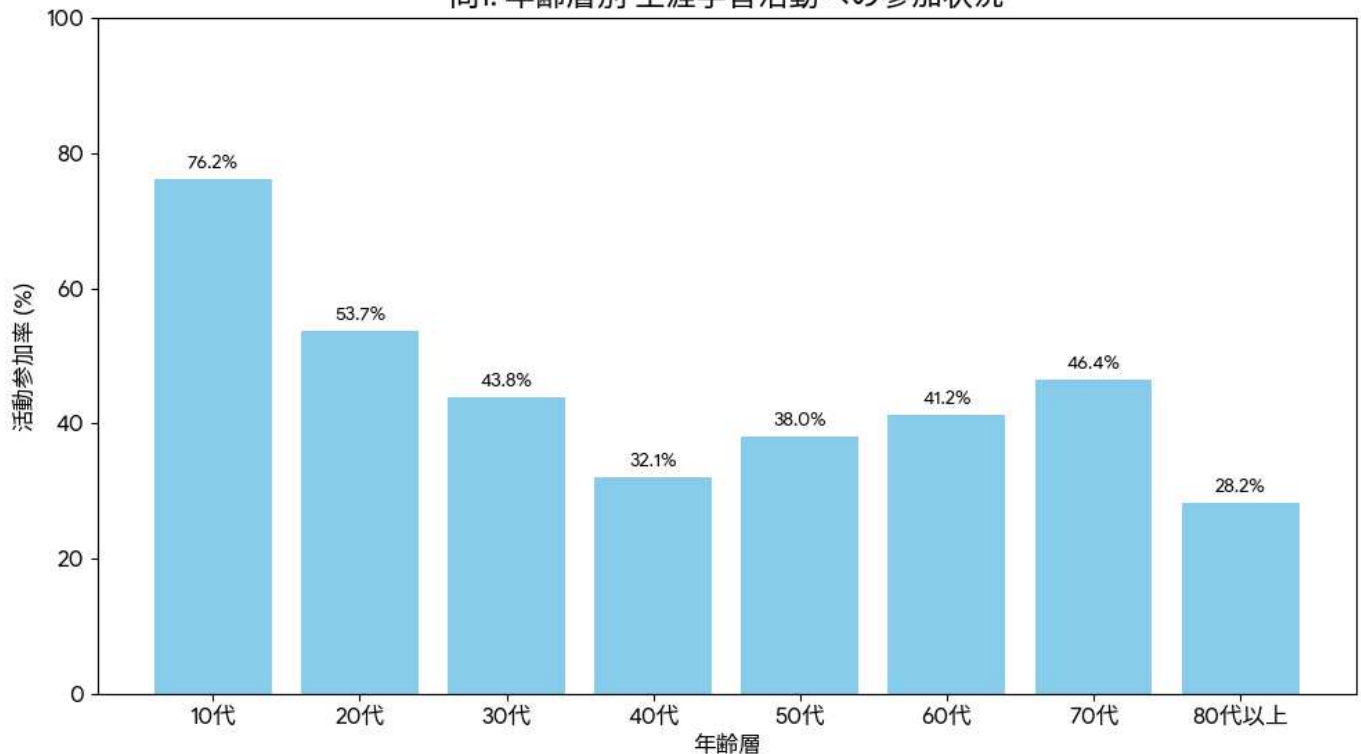
年齢層	回答 総数	1. している	2. していない	3. しているが、 不満がある	参加率計 (1+3)	うち不満がある割合 (3 / (1+3))
10代	42	32 (76.2%)	10 (23.8%)	0 (0.0%)	76.20%	0.00%
20代	54	27 (50.0%)	25 (46.3%)	2 (3.7%)	53.70%	6.90%
30代	73	31 (42.5%)	41 (56.2%)	1 (1.4%)	43.80%	3.10%
40代	81	24 (29.6%)	55 (67.9%)	2 (2.5%)	32.10%	7.70%
50代	79	29 (36.7%)	49 (62.0%)	1 (1.3%)	38.00%	3.30%
60代	85	35 (41.2%)	50 (58.8%)	0 (0.0%)	41.20%	0.00%
70代	125	55 (44.0%)	67 (53.6%)	3 (2.4%)	46.40%	5.20%
80代以上	78	22 (28.2%)	56 (71.8%)	0 (0.0%)	28.20%	0.00%

（注: **参加率計**は「1. している」と「3. しているが、不満がある」の合計。

うち不満がある割合は、生涯学習活動を行っている人のうち、不満を感じている人の割合です。）

3. 視覚的表現（グラフ）

問1. 年齢層別 生涯学習活動への参加状況



4. 分析結果と考察（ポイント）：

- **10代の高い参加率:**
10代の参加率は76.2%と全世代で最も高く、学校教育等との関連が背景にあると考えられます。
- **働く世代の参加率低下:**
働く・子育て世代にあたる30代(43.8%)から50代(38.0%)にかけて参加率は低下し、特に40代(32.1%)で最も低くなります。仕事や家庭による時間的制約が主な要因と推察されます。
- **高齢者層の参加率回復:**
60代(41.2%)、70代(46.4%)では参加率が回復します。退職等を機に、健康や生きがい、社会とのつながりへの関心が高まることが背景にあると考えられます。
- **80代以上の参加率再低下:**
80代以上では参加率が28.2%に再び低下し、健康上の理由や外出機会の減少が影響していると考えられます。
- **活動者の不満と課題:**
活動者中の「不満あり」層は20代(6.9%)、40代(7.7%)などで見られ、学習内容や環境等の質の向上が課題であることを示唆しています。
- **自由記述から見る活動内容:**
活動「している」層が具体的にどのような活動に取り組んでいるかを自由記述で尋ねたところ（詳細は巻末資料p48参照）、スポーツ活動ではゴルフやテニス、体操など、文化的な活動では読書や音楽、書道、語学学習など、非常に多岐にわたる活動が挙げられました。また、スキルアップを目的とした「資格取得」に関する記述も多く見られ、市民の多様な学習ニーズが確認できました。

杉戸町の生涯学習推進への示唆:

- ・ **多様なニーズへの対応:** ～学びの機会を、すべての人へ～
市民のライフステージや年齢層ごとのニーズに応じた、多様な学習機会の提供と、それらの情報が的確に届くような効果的な情報発信が求められます。
- ・ **活動低迷層への支援強化:** ～働く・子育て世代をサポート～
特に活動率が低い30代～50代の層に対し、時間や場所の制約を受けにくい学習方法（オンライン、短時間プログラム等）や、関心を惹く魅力的な学習内容の提供といった支援策の検討が必要です。
- ・ **高齢者の学習継続支援:** ～生涯アクティブに、安心して学ぶ～
高齢者の活動的な学習への継続支援と共に、80代以上の層が安心して参加できるような配慮（例：送迎支援、健康に留意したプログラム、身近な場所での開催など）も視野に入れる必要があります。
- ・ **学習満足度の向上:** ～より質の高い学びの実現～
活動者の満足度を高めるため、学習内容・指導者・施設環境など、様々な側面からの質的向上に向けた取組も重要です。

1 2. 町が生涯学習推進のために力を入れるべきこと（問 1 1）

1. 設問内容 問 1 1. さらに生涯学習活動を盛んにするため、町が力を入れていくべきことは何ですか。（複数選択可）※この設問の対象者は、アンケートに回答した全町民です。

2. 回答状況（年齢別・力を入れるべきこと別選択率）（各年齢層の全回答者数を分母として、各項目を選択した人の割合を示しています。項目名を簡略化しています。）

（注）・本設問は複数回答が可能です。

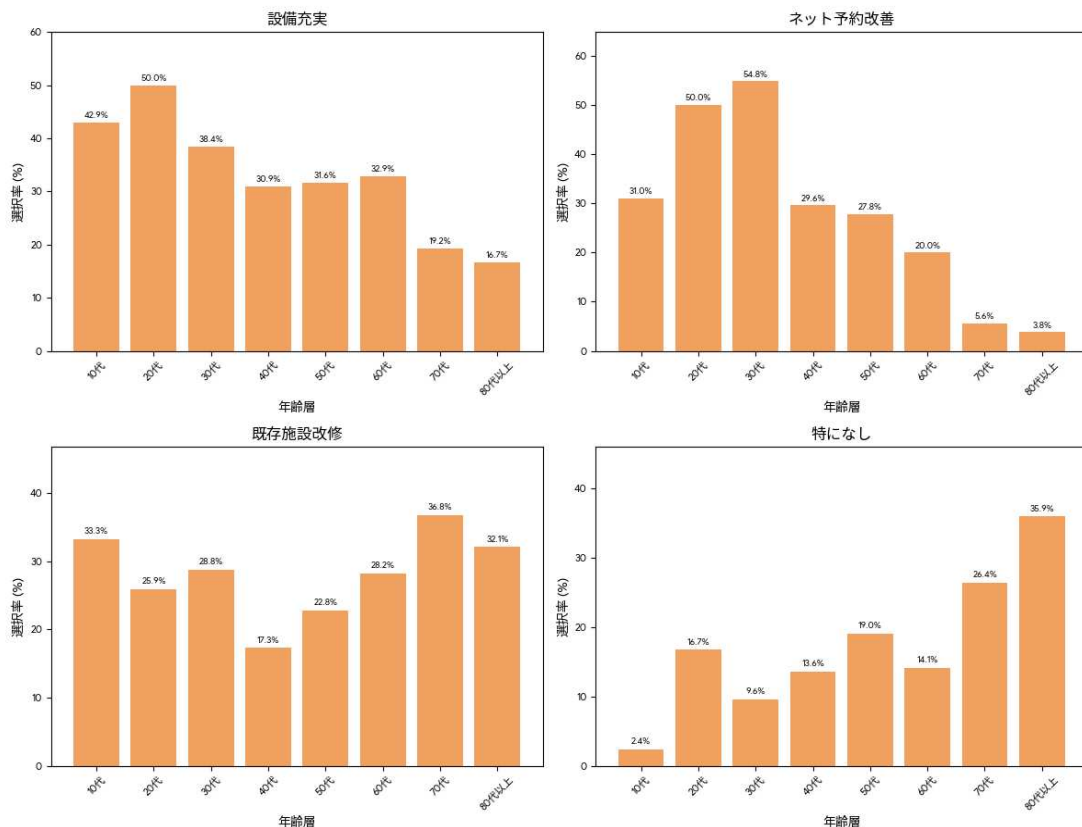
・各選択肢の選択率は、問 1 の各年齢層の全回答者を母数として算出しています。

町が力を入れていくべきこと	10代 (N=42)	20代 (N=54)	30代 (N=73)	40代 (N=81)	50代 (N=79)	60代 (N=85)	70代 (N=125)	80代以上 (N=78)
1. 施設増設	40.50%	27.80%	27.40%	16.00%	6.30%	22.40%	12.00%	14.10%
2. 既存施設改修	33.30%	25.90%	28.80%	17.30%	22.80%	28.20%	36.80%	32.10%
3. 設備充実	42.90%	50.00%	38.40%	30.90%	31.60%	32.90%	19.20%	16.70%
4. 学校施設活用	35.70%	14.80%	34.20%	30.90%	25.30%	32.90%	24.80%	14.10%
5. 職員対応向上	16.70%	9.30%	20.50%	17.30%	15.20%	20.00%	9.60%	5.10%
6. ネット予約改善	31.00%	50.00%	54.80%	29.60%	27.80%	20.00%	5.60%	3.80%
7. 総合施設建設	40.50%	33.30%	24.70%	27.20%	16.50%	21.20%	21.60%	17.90%
8. 特になし	2.40%	16.70%	9.60%	13.60%	19.00%	14.10%	26.40%	35.90%

(注: 上記のNは各年齢層の全回答者数（問1の結果より算出）。太字は各年代で特に高い、あるいは特徴的な数値。)

3. 視覚的表現（グラフ）のご提案

問11. 町が力を入れるべきことの年齢層別選択率（パネルグラフ）



4. 分析結果と考察（ポイント）：

- **若年～中年層のニーズ「設備充実」「ネット予約改善」：**
若年～中年層からは「設備充実」へのニーズが高く、特に10代・20代で顕著です。また、「ネット予約改善」は20代・30代で半数を超え、働く世代の利便性向上への強い要望が示されています。
- **高齢者層のニーズ「既存施設改修」：**
高齢者層では「既存施設改修（バリアフリー等）」へのニーズが特に高く、70代(36.8%)と80代以上(32.1%)で3割を超え、安心して利用できる環境整備が課題です。
- **若年層の期待「新たな施設」：**
「施設増設」や「総合施設建設」は特に10代で4割を超える高いニーズがあり、多様な学習・活動の場への期待がうかがえます。
- **幅広い世代からの期待「学校施設活用」：**
「学校施設活用」には幅広い世代で3割程度の安定したニーズがあり、身近な施設の有効活用が期待されています。
- **「特になし」の高齢層での増加：**
「特になし」は年代と共に増加傾向にあり、特に70代・80代以上で高くなります。既存施策への満足や新たな要望が少ない可能性を示唆します。
- **自由記述より：**
「その他の町が力を入れるべきこと」に関する自由記述（詳細は巻末資料p58参照）では、選択肢以外にも極めて多様な意見が寄せられました。特に、生涯学習に関する情報提供・広報・周知方法の抜本的な改善を求める声が際立って多く、次いで活動場所や時間、交通手段といったアクセシビリティの向上に関する要望が多数見られました。その他、講座内容の多様化・質の向上、特定の施設（スポーツ施設、文化施設等）の新設や既存施設の有効活用、指導者の確保や活動費用の補助といったソフト面での支援、オンライン学習環境の整備など、具体的な提案が数多く挙げられており、町民の多様な期待が浮き彫りになりました。

杉戸町の生涯学習推進への示唆：

- ・ **学習環境の質の向上：**～「設備充実」で学びの魅力を高める～
特に若年・中年層のニーズが高い「設備の充実」に計画的に取り組み、学習環境の魅力を向上させます。
- ・ **利便性向上とDX推進：**～「ネット予約改善」で参加しやすく～
働く世代の強い要望である「インターネット予約の容易化」をはじめとするDXを推進し、施設利用の利便性を高めます。
- ・ **ユニバーサルデザインの推進：**～「既存施設改修」で誰もが安心して学べる場を～
高齢者層の要望が高い「既存施設のバリアフリー化」を着実に進め、全ての町民が利用しやすい施設環境を整備します。
- ・ **学習資源の有効活用と多様な場の確保：**～学びの「拠点」拡充～
学校施設のさらなる活用や、若年層の期待も踏まえた施設増設・総合型施設のあり方を検討し、多様な学習ニーズに応える場を確保します。